十一月八日夕刊

常磐毎日新聞

日刊

定價一部 一ケ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料五號十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

『金色夜叉』を語る

眞繼　雲山

（一）

私は是非一夏、鹽原にあそびて清琴樓の一室に『金色夜叉』の久戀を慰したいものと思ふてゐるが、未だ到り得ず、千萬の恨み、これに過ぐるものはない。今は西那須野より自動車の便ありと聞くも、願はくは人車を雇ふて金色夜叉を生地でゆきたいものと思ふてゐる。まことに金色夜叉は文豪尾崎紅葉一代の傑作であり、明治文壇の巨大なる産物であつた蘆花の不如歸の清楚を疎んずると言はざるも、金色夜叉の深刻灼熱なるに如かず私はしば〳〵ひもとき、今も繙きかつて政治犯の獄中にさへも繙いたことを思ひ出す。

小説を讀んで感激するといふは、芝居を見て泣く男と同列であらんも、森羅萬象一切は無といへば一切無机も大臣も、陽炎の如きものである。有といふべくんば、小説中の人物も思想もこと〴〵く歴としたる實在として私には考へられる。

一代の名篇『金色夜叉』は惜むべし完結にいたらずして山人先づ黄泉の客となつた。門下生小栗風葉は、爲めに『終篇金色夜叉』を呵して原稿料を稼ぐことしば〳〵なりしも、その低劣、讀むに堪えず。尾崎紅葉の金色夜叉は實に明治卅五年四月一日の擱筆を以つて細つてゐるのであり、又それを以て終りとすべきでもある。

その山人の金色夜叉の終末はお宮より貫一に送つた長々しい手紙によつて打切られてゐるが、その書簡の末文には左の一句あり。

思へば人の申し候ほど死ぬことは恐ろしきものに御座なく候、私は今が今じ參らせ候。たゞ後に遺り候ふ親たちの嘆きを思ひ、又わが身、生れ甲斐もなく、この世の縁薄く斯やうに今ある形も直きに消えて、この筆、この硯、この指環、この燈火も、この居宅も、この夜も、この夏も、この蚊の聲も、四圍のものは皆な永く殘り候ふに、私ひとり亡きものに相成り候ふて、人には草花の枯れる程にも思はれ候はぬ果敢なさなどを考へ候へば返すゞ〳〵情なく相成り候ふて、心ならぬ未練も出で申し候

ノート

洗物の地質に相當した洗濯液を作り、それに品物を夏なら二三時間、冬なら半日ほどつけ込んでおいてから、洗ひますと大變落ちが早くて、しかも樂でございます特に白いものなどは樂に洗へます洗ひ方は板の上に布地を伸ばし、ブラシで洗ふのがよろしうございます。

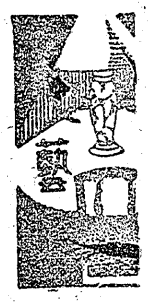
このまゝに息ひき取り候はゞ何よりの仕合せと存

常磐歌壇

上野　孤舟

故里のかやの廣野に鳴く虫を　病む身かなしくきゝてねにけり

唐黍を燒く香りしてたそがるゝうら通りに灯はともりたり



二明日の献立二

【朝】いてふ、大根のみそ汁

【晝】蛤、みそ煮

【晩】かれひ、二色むし、人參あちやら煮

季節御料理

鳥　松茸　よせなべ　丼類種々

右大々勉強　出前迅速

◎滋養豐富！風味美味！

是非一度御試食を……

大蒲燒・鳥料理
壽司・折詰仕出し　魚榮
田町（電話四二四番）

貸切の●●●
御用命は！
獅子吼（シシク）（四四九）ノ勢デ
眞先（マッサキ）ニ……（マッサキ）
三九二（ミクニ）タクシーへ!!!

耳鼻咽喉科專門
氣管食道科
平南町（電話一七〇番）
大和田醫院

金銀宝貨入
根本時計店
質札は（金時計鎖指輪類）有利に御相談致します
平町田町　丸新デパート

胃腸病妙藥
昔ハ料理ニ必ズ「シ茸」ヲ用タリ今ハアマリ使ハズ甚不都合ノ次第ナリ「シ茸」ヲ煮ジ臥寢前ニ服用スレバ胃腸ヲ整ヘ便通正シク氣分爽ナリ諸病ヲ未然ニ防グ効能アリ人助ノ爲メ廣告ス此ノ秋茸ノ出ル時節ナレバ新茸程効能著シ各家席ニテ百匁位ツヽ常備シ置ク事肝要ナリ

どんな病でも必ず治る
オキシヘーラー
オキシヘーラー　は心臓の働きを強く正しくし、如何なる難症も熱心繼續治療によつて必ず治療す、殊に急性症の治りの急速なること眞に驚嘆の外なし、
◎盲腸炎、腹膜炎、胃腸諸病、食物中毒、中耳炎、腎臓病、膀胱喘息、骨膜炎、丹毒、流行性感冒、氣管支カタル、肺炎、神經痛、リウマチス等にて高熱や激痛に惱まさるゝ方、心臓の弱りたる方、其他如何なる急慢性症の方も時をうつさず當實驗所の治療に依つて速かに御快癒なされん事を
オキシヘーラー　は餘りに手遲れにならざればどんな病も手術の要なく完全に治療す。
治療料一回金五十錢、出張治療町内一回金壹圓
但し出張治療は場合により異ることあり。
七ヶ郡一手販賣と實驗治療　原田良節
オキシヘーラー平實驗所
平町田町役場通り四九

委囑されて

『秋は色よし』

根本邦雄氏 苦心の作曲

此程完成を遂ぐ

磐城中學校音樂教師根本邦雄氏は東京シンフォニー社の依頼により提光泰氏作詩『秋は色よし』の作曲中此程完成した因に同氏は音樂學校在學中から中山晋平氏に師事した關係から同氏の數多く作曲された民謠の内で『九月の唄』等は中山氏の傾向を多量に含んだ代表的作品として知られて居り又二百を越へた童謠作曲中『お地藏さん』『螢』等は白眉の出來として愛唱されつゝある事は人のよく知るところである

固定貸の緩和に 特別融資を協議

既報産業組合中央金庫では各組合の貸付金固定を緩和する爲め特別融通資金を貸付ける事になつたので石城産業組合部會に本日午前九時管内組合代表者四十四名參集し協議會を開き左記事項を協議した

一、特別融通資金に關する件
一、貯金奬勵に關する件
一、系統機關に關する件
一、産業組合法改正に關する件

濱三郡を一區域に 製糸工場設置運動

福蠶石城支部の決議

福島蠶業學校同窓會石城郡支部の總會並びに懇親會は五日午後一時より新築の蠶業取締所支所に於いて催され役員改選の結果會長には酒井平陽女學校長、副會長は目黒平蠶業取締支所長、代議員として高萩正一氏等が當選した尚ほ同支部の事業として濱三郡を區域とする産業組合經營の製糸工場設置に就いて運動を起す事となつた由

磐中各組 對抗体育

既報磐城中學校第二回校内各組對抗体育大會は本日午前九時より校長橋本文壽氏の開會の辭、審判長横井敎諭の競技上に對する注意あつて百米をトップに開始されたが出場選手は各組より一種目一名宛合計七百名に達し頗る盛況を呈した

進境著しい 平商の各種競技

何れも前年の記錄を破る

既報平商業學校にては昨日午前十時より第二回陸上競技大會を開催したが進境著しくいづれも昨年度の記錄を破り盛況裡に午後五時半各々賞品を授與し閉會した因に優勝者は左の如くである

(百米)十一秒九、四年齊藤三男(二百米)廿六秒二三年木田英夫(八百米)二分四十一秒九、五年叶多芳衛(千五百米)五分卅五秒、五年笠原三男(八百米リレー)一分五十五秒二五年佐野、星野、須藤、鈴木(走巾)五米三五、四年四家肇(走高)一米五十三四年齊藤三男(砲丸投)十米廿一、五年吉成一(バ球投)二十六米十九、二年鳥越巖

小川生柿協定

石城郡小川村果樹組合では來る十日村役場に於いて役員會を開き生柿出荷の取引値協定打合會を開くと

代金回收が不安で 木炭の生産を制限

去月中の移出檢査減少

濱三郡木炭同業組合の去月中移出檢査數は石城が六萬八千八十一俵、双葉が四萬五千八百九十五俵、相馬一萬四千六百十六俵、計十二萬八千五百九十二俵で昨年同期の十三萬千七百三十七俵に比較すると三千百五十五俵の減少を見たがこれは東京市場の代金回收が不安な爲め生産制限を行つた結果であると

明日の平町一週 リレー、コース

勇躍して兒童等走る

既報明日午前十時より行はれる平第一小學校尋常科第二學年生以上の平町一週リレー競走のコースは左の如く決定したと

校門出發　古鍛冶　久保町　八幡小路　胡摩澤北目　櫻町　四軒町　柳町　城山　物見ヶ岡ド機關庫裏　仲間町　白銀町　田町　二丁目　三丁目　四丁目　四丁目　五丁目　立町　鎌田町　五色町　第三小學校前　新川町　南町　鍛冶町　仲町　大町　新川緣　長橋町　材木町　紺屋町　古鍛冶町　才槌小路　歸校

平署選手 惜敗

既報縣下警察官の武道大會に出場せる平署代表選手の内劍道部では小野寺、大谷の兩氏が二回戰、室井氏は三回戰で何れも敗れ一人鈴木氏が四回戰に出場したが福島署の原田氏に惜敗柔道部は宮内氏第一回戰に落ち古山氏獨り奮戰せるも三回戰で郡山署の國安氏に敗れ一同昨夜歸署した

農業倉庫認可

石城郡信用組合では豫ねて縣へ申請中の農業倉庫が昨七日付を以つて認可の指令に接したと

平町人事

回出生

△搔槌小路三八　當時東京市中野區向臺町三十玉橋濟氏四男憲治
△大工町一四　早川次郎氏四男正次

回死亡

△胡摩澤六一　花澤兎與氏六女サダ(三ッ)
△五丁目一四　當時石城郡玉川村字住吉片寄シチ(二ッ)
△田町四六　立島兼藏(五二)

祝十週年

土木建築請負業　江口忠一　平町(電話五一九番)

井坂醫院　井坂久吉　平田町(電五五九番)

原齒科醫院　原精一　平土橋(電話三一番)

西村屋藥舗　平二丁目(電話三番)

渡邊内科小兒科醫院　渡邊久　平町鼠坂(電一六一番)

櫛田榮太郎　平材木町(電二四八番)

荷札封筒紙袋製造　小谷紙店　平南町(電話一四七番)

木村外科醫院　木村淳　平六丁目(電四八二番)

江戸前料理食堂　日本料理御婚禮御法事折詰仕出し　錦水　電四五四番

マルトモ　柴田書店　平町四　電話(營業部二三四・五九七　食堂一三三　自宅一八五)

松の木一えだが

窃盜罪で裁判騒ぎ

畑の邪魔と切つたのが原因

石城郡高久村大字神谷作字福谷六〇鈴木甚四郎（四七）は本年七月同村七大谷辰五郎（七四）が畑の土堤に植えた松の木の枝が丁度自分の畑の作物の上に生ひかぶさつて邪魔になる處から其枝を勝手に切り拂ひ西瓜畑の垣に使つたので是れを見た辰五郎は烈火の如く憤り『俺の松の枝を勝手に切つたのは泥棒だ』と此程平檢事局に甚四郎を相手取つて窃盜罪の告訴を提起し目下上田檢事係りで取調中であるが僅か松の木一枝の裁判沙汰は平檢事局にも稀らしい事件であると

風がなぎ次第

高等飛行の數々

午前中の觀衆が大失望

松崎飛行士の郷土訪問飛行はけふ愈よ平上空に於て木下操縦士の誘導機が高等飛行に種々の妙技を發揮し女バラシユータアが落下傘に依つて舞ひ降りるといふので豫定時間の午前九時頃から南理田圃には小學生や其他の觀衆が總立ちとなつて天を仰いで待つたが二機雁行し來つて二三度上空を旋回した切りで四倉方面に機影を沒し午後二時頃再び飛來して宙返りをやつた儘また東空へ雄姿を消したので觀衆の多數は失望したが風のなぎ次第落下傘を行ふ由である

松崎氏を歡迎

けふ丸友に

平町出身松崎飛行士の歡迎會は消防組、町役場等が主催で今夕午後五時より丸友ホールに於いて催されるが終つて宗里第一飛行學校長の講演があると

負けろと負けぬで示談纏らず

夜逃果物屋が留置場で日を送る

既報梨の委託販賣で千數百圓の被害を與へて夜逃した平町二丁目果物問屋津島武藏（三〇）は去る五日郷里の青森驛に下車した處を取押へられ平署に引連れ留置場に拘置されたが本人は掛買支拂の四割引を懇請し被害者側は二割引以上は駄目と主張して譲らぬ爲め示談が成立しないので係官も持て餘して居る

石井漠氏の舞踊會

廿八日晝夜と決定

昨報平町共濟事業助成會資金造成の石井漠氏舞踊會は來る廿八日晝夜二回聚樂館に開催する事と決定したが入場料は普通五十錢學生二十錢であると

貨物船で滿洲への

手紙を見て驚いた實兄が平署へ弟の取押願

平町立町日雇業山本元藤弟清治（一七）は二年前より東京市淺草區南元町二二東京光球商會に見習奉公中の處滿洲で一旗擧る爲め十日横濱出帆の貨物船で渡滿するとの書面を七日實兄に宛てたので驚いて平署に取押方を願出た

盛岡からルンペン徒歩

昨日午後六時頃平署人事相談所に一名の老ルンペンが旅費の貸與方を願出たので係官が事情を聞くと同人は靜岡縣富士郡入山瀬村生れ伊藤吉之助（五二）といひ去月十五日迄岩手縣盛岡市本町通三四山田義一方に雇はれて居たが病氣の爲め失業郷里へ引擧ぐ爲めに徒歩で來たものであると

馬車輓七名が失業して嘆願

新川改修工事の土盛運搬を請負してほしいと

平町久保町鈴木金一外七名の荷馬車輓業者は去る七日町役場に出頭目下失業して困つて居るから新川改修工事の土盛運搬を請負はして貰ひ度いと陳情書を提出した

健康增進に

此内一ツは是非共實行

平町役場では來る十日より十六日迄の健康增進週間には各學校方面に講演會を催す外一般市民には一善事項として深呼吸、冷水摩擦、含嗽衣服の洗濯、下水修理、早起、家屋下水、便所等の清掃、暴飲暴食の注意塵芥箱の整理等の項目の内必らず一項目を特に注意して實行し健康增進を圖られ度いとのビラを市内に配布すると

平裁判たより

▼既報東京市牛込區築地十六番地無職庄三郎妻赤津ムメ（四九）が石城郡勿來町字白山料理店一力に酌婦を周旋すると稱して金百圓を横領した事件は本日平區裁判所に於て竹内判事より懲役六ケ月但し三年間刑の執行猶豫を言ひ渡された

平職業紹介所報告

回人を求める方

△農夫　二十五才　尋卒　月八圓（四倉町某）
△女中　二十才　尋卒　給料面談（平町某）
△大工徒弟　十八才　尋卒　仕着小使（神谷村某）
△外交員　四十才　高卒　月十五圓外歩合（平町某）

回職を求める方

△印刷工　十八才　高卒　給料面談（平町某）
△旋盤工　二十二才　高卒　給料面談　平附近望（湯本町某）
△女事務員　十七才　高女卒　給料面談（平町某）
△トラック助手　二十五才　中學卒　給料面談（茨城縣某）

明日のラヂオ

仙台放送局

九日

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間 お話「野口英世博士の少年時代」長谷川幸太郎
▼後六、二五 英語講座 中等科（四ノ一）清野暢一郎
▼後七、三〇 講演「商業組合法に就て」商工省商務局長川久保修吉
▼後八、〇〇 「リードシンフォニユー」ソプラノ野崎住子 フリユート川口勝治郎 ヴイオラハンスラムセガー 同蛯子正純 ピアノヨセフラスカ
▼後八、二五 浪花節「堀部安兵衛婿入」浪花小圓
▼後八、五〇 連續講談「内田萬之助」（第四席）桃川若燕
▼後九、三一 滿洲より

天氣豫報

今晩も明日も北西の風曇り後晴れ

全國ニュース番組豫告

明日の部

▼前九、一〇 料理献立「グレロドチキン」朝倉長吉
▼前一〇、三〇 家庭講座
▼後〇、〇五 吹奏樂 大阪市音樂隊 指揮林亘
▼後一、五〇 運動競技「六大學野球リーグ戰試合狀況」明治對帝大一回戰 明治神宮外苑球場より中繼
▼後二、〇〇 家庭大學講座 子供の心（田舍兒童と都會兒童）東大助教授青木誠四郎
▼後五、三五 家畜衛生講座「養鶏の衛生について」宮城縣内務部農務課技手瀬戸佳松
▼後六、〇〇 子供の時間 お話「江川太郎左衛門」古見一夫
▼後六、二五 英語講座 初等科（二一）岡倉由三郎
▼後七、三〇 講演「七郷の事績に就て」徳田淺二郎
▼後八、〇〇 映畫物語「オーバーゼヒル」生駒雷遊
▼後八、三〇 尺八「紅葉」一部片山雄山 小西松山 二部津田維山 八坂鈴山
▼後八、五〇 連續講談「内田萬之助終席」桃川若燕

藏本劍法

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第百九十四席　平手造酒

繁藏の賭場荒し

洲の崎の政吉は子分二名を伴れて太田の賭場は舍利の源治、他に兄弟分三名に任せて豊岡を指して出向いた、するとこの日笹川の繁藏がこの太田にゐる親類に目出度い事があつてそこへ參り戻りに舍利の源治が預かつてゐる、賭場の前まで來た、板圍ひがしてあつて表には長脇差を腰にした者が二人四斗樽に腰を下して出入りの者を見てゐる、繁藏は濃淺黄の手拭で頬冠りをして脇差を袖に隱しズイとこの賭場に入つた

○『オイ〳〵客人冠り物は脱つて入つておくんなさい』

と見張つてゐた者が云ふと聞えぬ態で繁藏はその儘内に入らうとしたが再度云はれて取らぬわけにも行きません、パラリ手拭を刎ねた、見張りの者は驚いた

○『これは笹川の親分でございますか』

繁『大そう盛つてゐるな』

○『有難うございます、宜い按排にお客も大分參つて居ります』

繁『オウさうか、少し[illegible]があつて來た、御免よ……』

と挨拶して奥へ行くと客は四五十人居り目の色を變へて勝負を爭つてゐる、正面には舍利の源治が貸元として控へて居ります

繁『皆さん御免なさいよ』

客人を押分けズイとそれへ入つた

繁『源治、宜い景氣だな』

源『これは笹川の親分よくこんな所へお出でになりました』

繁『なアに態々出て來たと云ふ譯ぢやアねえ、親類に目出度い事があつて[illegible]日喜びに來て昨夜厄介になり今戻る途中だ、貸元は主か』

源『ハエ洲の崎の兄イと一緒に盃を敷いて居りましたが急に政兄イは豊岡へ出向きまして、私が跡を引受けて居ります』

繁『それは御苦勞、時に源治、主には氣の毒だがこの場金は俺が貰つて行くよ』

源治はこれを聞いてクル〳〵目を廻して

源『エッ、場金を何うなさいますと』

繁『小遣ひとして貰つて行く云ふのだ、政吉が歸つたら藏が借て行つたとさう云つてくれ、お客様、洵にあなた方にはお氣の毒でございますが、この場金は一時拜借いたしますようございますか』

と云はれて客人宜しうございますと云ふ者はない顔と顔を見合せた繁藏はザラ〳〵と場金を寄せて來て

繁『源治や、そこにある財布を貸てくれ』

源『ヘエ』

繁『何を愚圖々々してゐるんだ、何もさう睨む事はなからう、場金を持つて行くのが惡いか、入用だから借て行くんだ、それとも腕づくで止めるか』

云はれて源治が、源宜しうございます、どうぞ持つて行つて下さいまし』

繁『さうかそれでは借て行くよ、時に幾等あるか勘定してくれ』

源『圖々しい奴があるものだ』

繁『何だと』

源『イエ此方の事で八十二兩二分ございます』

繁『そんなものか、百兩あると思つたが、ヤイ源治ごまかすな』

源『全くそれだけよりございません』

繁『なければ仕方がねえ、その寺箱の中にある金を持つて行く、財布に入れてくれ、よし〳〵それで好い、主は好い氣性だ、だが場金を貸て呉れと云つたら目をクル〳〵させたが二ッ返事でそつくり渡して呉る、之は出來ねえ事だ、助五郎どんはよい子分を持つて仕合せだ、ヘエお客様御ゆつくりお遊び下さいまし』

と云ひ捨てゝ財布を肩にかけ悠々と其落つき拂つた態度に氣を呑まれて一同は呆氣に取られてゐたが誰一人として音をあげる者もない、かう申すとこの賭場によい者がゐないやうに思はれるでせうが、大膽な重藏の事とて脇差の十本や二十本は少しも心にかけない、それ故こんな事も出來る

○『何んと云ふ事だらう、オイ源治さん、お前は貸元でありながら云はるゝ儘に貸すとは意氣地のねえ事だこんな事がねえやうにと一兩に幾らと税を出して遊んでゐるのだ、お前はそれでも貸元か、イヤサ親分か』

客人は重藏の姿が見えなくなると騒ぎ出した。

金銀
高價買入致します！
◎御修繕は
技術に絶對自信を持つ弊店へ
ダイヤ堂
鈴木時計店
平驛前通り

斯界の權威!!!
大塚の靴
學生靴　自製編上靴　六圓
女學生半靴　五圓
紳士靴　弊店自慢の流行新形
平田町
大塚製靴部
電話七七番

りん病　こしけ　永らく惱む人の福音
天下の名湯別府溫泉で出來た無効返金責任藥
特許　りん病こしけ別府淋藥
全國知名新聞雜誌推奬
こんなヨイクスリを未だ知らない方がありませうか
右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし慢性淋病、こしけ、渦渦の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸傷害なき各葉であります。
尚ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金します。
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢性、惡性の人は七日以上服差して下さい。
◆美本淋病治療書無代進呈　此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送藥す。
代金引換廿三錢手數料金納の事。
藥價　急性用（黑箱）一週分參圓
慢性用（赤箱）一週分五圓
特約一手販賣　平町古鍛冶町一〇
岡部藥舗
縣社ノ下（電話四四番）

市原醫院
平町田町（電話一一四番）
内科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋病　市原三三男
■入院隨時

旭硝子株式會社製品
赤菱印　板ガラス
製造販賣
◆菓子壜
◆硝子食器
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町（電話一四二番）
◇支工場　仙臺市榮町（電話五九七番）